

くの提案があった。技術相談会、講演会、パネル展示会に関して、開催方法・頻度、周知方法等、多くの意見があった。また、技術振興事業の進め方に関して、「技術振興のネックになっている原因調査からやるべき」との意見も寄せられた。今年度事業の反省も踏まえながら改善につなげていきたい。

地域企業人材と地元学生の人材育成の必要性に関して、9割以上が「必要である」と回答した(図5、図6)。人材育成事業全般について、「インターンシップを強化して有能な人材を地域で確保する」、「地域企業間の人材交流、また高専による地域企業の人材育成」、「Uターンした社会人の活用・就職に努力してほしい」、等の意見や要望があった。人材育成は今後一段と重要であり、地域製造業の活性化につながるような進め方をさらに検討する必要がある。

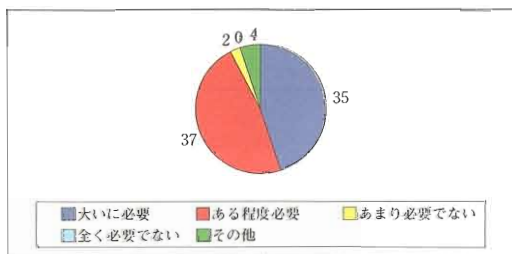


図5 地域企業人材の育成

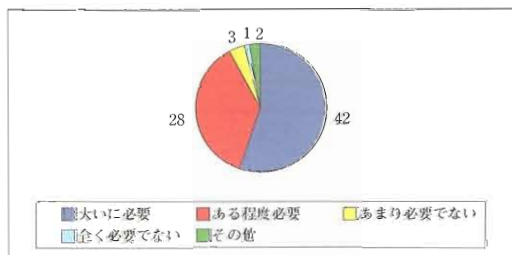


図6 地元学生の育成

情報発信のための発信源に関するアンケート結果を図7に示す。HPだけでなく、会誌やイベント等を通して情報発信すべきだとの回答が多かった。HPに関しては、「高専の学生によるHPの運営はできないか」、「双方向の情報発信になるように工夫が必要。多くの人にアクセスしてもらえるようなHPになるように工夫が必要。」、等、色々な意見が寄せられた。アンケート全体を通じて情報発信不足に関する指摘が多い。予算や人員等のリソース面での制約は多いが、HPの充実を含め、色々な手段・機会をとらえて積極的に情

報発信する必要がある。

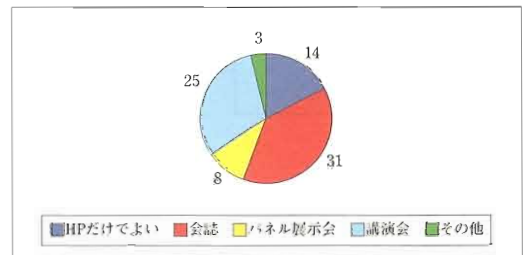


図7 情報発信源

「ビジョン」や「基盤整備」に関するアンケート結果を図8～図10に示す。

西九州地域の将来について、新規事業の育成や造船産業を核とした従来産業の強化、そして、企業誘致や自衛隊・米軍の活用による活性化等、幅広い回答が寄せられた。その中でのNTCの役割として、技術振興と人材育成への期待が大きい。そして、佐世保高専に期待される役割も技術振興と人材育成がほぼ半々であった。

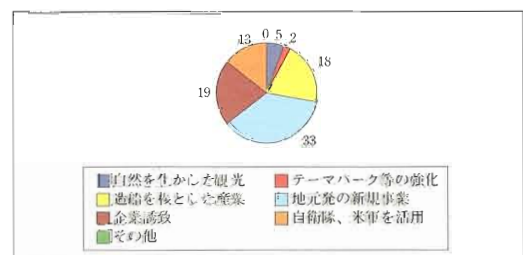


図8 西九州地区の将来

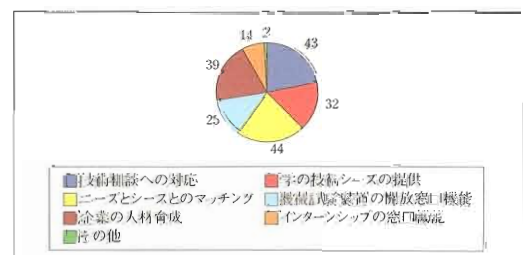


図9 NTCの役割

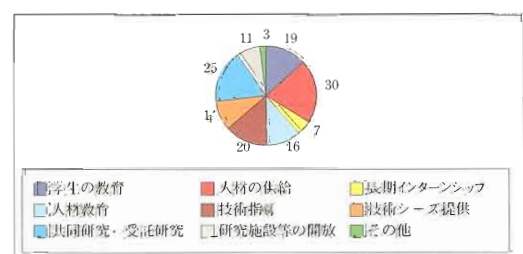


図10 佐世保高専に期待する役割